

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 6 号)

2019年12月 6日発行

兵庫のみ研究所

この海域西部を中心にユーカンピアをはじめ、キートセロスやリゾソレニア・筒状の連鎖型といった多様な珪藻が多く発生しています。今回調査は潮時が下げ潮ということもあり、これら珪藻が混在する海水が林崎前まで波及しており、窒素は陸水等の影響を受けていた一部地点を除き1~2 $\mu\text{g at / L}$ と低い値を示しました。

(水温) 漁場内平均15.4℃。平年比0.3℃、昨年比2.4℃それぞれ低い。(塩分) 平均31.44psu。前回(31.86)より約0.4psu低い。

(栄養塩、珪藻) ユーカンピアは高砂から林崎前の地寄りで海水1mlあたり150~300細胞と多く見られ大きな減少は認められていない。また魚住以西の沿岸域を中心にキートセロスやリゾソレニア・筒状で連鎖して肉眼視される珪藻等も多く発生しており、二見周辺の地寄りでは黒褐色の強い赤潮として確認された。伊保・白浜漁場では、ユーカンピアはやや減少しているものの上記の珪藻が同様に見られ、弱い赤潮を形成していた。窒素はこの海域全般に1~2 $\mu\text{g at / L}$ の低い値となっている。一方、明石海峡部では珪藻はほとんど確認されず、窒素は7 $\mu\text{g at / L}$ 以上であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	18.5	15.4	15.7	17.8
窒素	5.5	2.2	6.8	8.9
リン	0.66	0.50	0.62	0.70

(11/27)

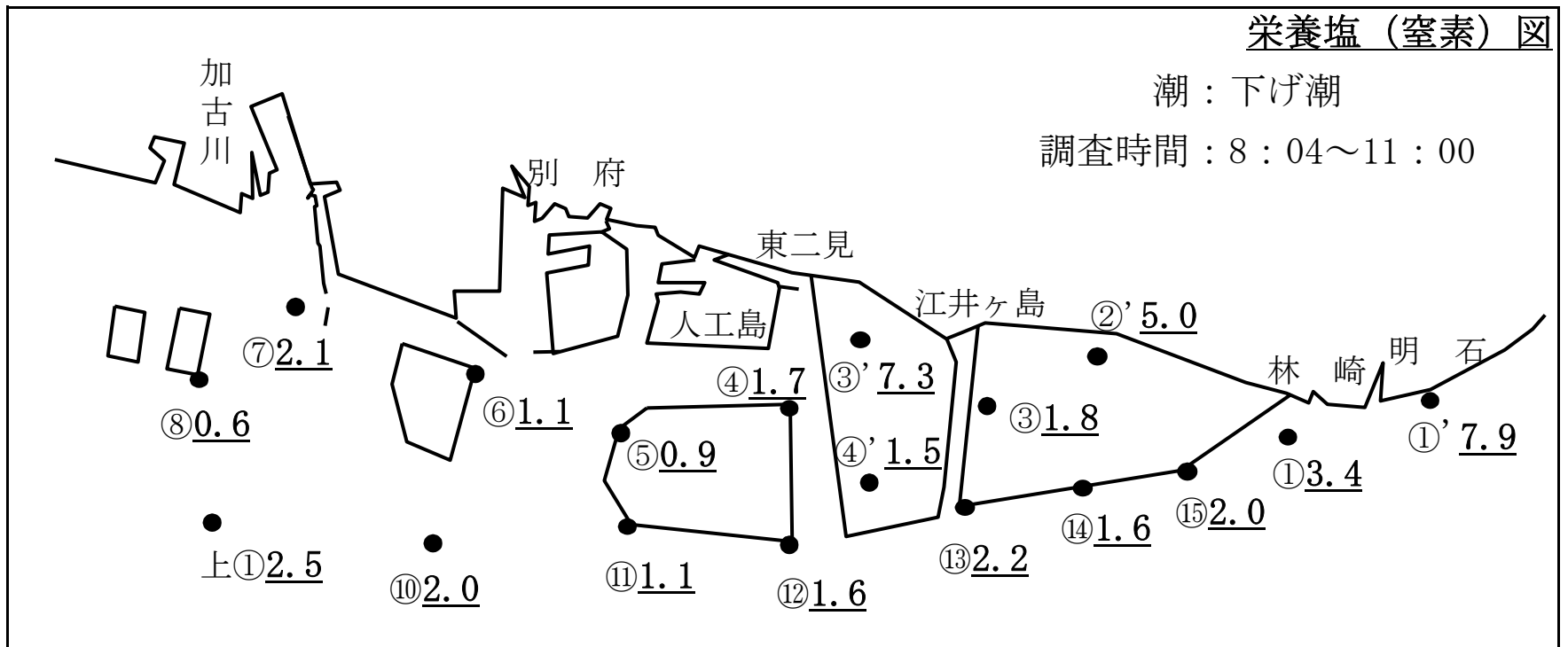
(12/6)

西播地先

伊保 地	水温	15.6℃	伊保 沖	水温	15.8℃
	窒素	1.2		窒素	1.8
	リン	0.42		リン	0.48
白浜 地	水温	16.1℃	白浜 沖	水温	15.8℃
	窒素	1.9		窒素	1.9
	リン	0.50		リン	0.49

2019年12月 6日調査

栄養塩(窒素) 図



水温図

